

デジタル&アナログ
イマドキのステーションナリーブランド「デニコ」の
製品開発および観光客向け販売促進展開事業

有限会社 豊明

代表取締役

桑山

豊章さん



左：代表取締役 桑山 豊章さん
右：京都デニコ店長 宮本 和友さん

平成23年度 採択事業

着物の技術を身近なものに

「京都デニコ」は、京都の伝統的なものづくりの技術をそのままに、現代のライフスタイルに合った身近な形で、新しく産業化を目指すデニムブランドです。代表取締役の桑山豊章さんは、大学でテキスタイルを学んだ後、父の染色加工呉服製造業を足がかりに、京都の染織技術をデニムに活かすための研究を重ねました。約5年の歳月の後、2008年、デニム生地に友禅加工や染色加工を施したデニムブランド「京都デニコ」を発表します。

パターンからデザインまで全てオリジナルの京都デニコは、伝統産業と言われる職人の手仕事や伝統染色技法を取り入れつつ、そこに日本人の美的センスを加えることで、日本の立体美を表現しています。例えば、型染めで小紋状に色抜きするなど、細やかで繊細な手仕事は京都の職人ならではの業。一貫して京都で作業を行い伝統の本質を製品に吹き込んでいます。また、和柄のひとつひとつは、その時の日本人の情緒を物語っており、和柄をパターン化して継承することよりも、その時の情緒を再現して継承することを大切にしています。より着物の技術を活用できるものはないか、と組み紐を使ったコラボ商品も開発しています。デニム生地は「縮み」を計算して作られているため、細かい計算と研究を繰り返し、組み紐を付けることが可能になりました。

なぜ、デニムだったのか？…「劣化してもアンティークとして価値が高まるデニムは、昔からお直ししながら着てきた着物の使われ方と似ています。デニムは現代の着物と言えるのではないのでしょうか。」と桑山さん。現代のファッションにもはや欠かせないデニムで、着物文化が培った伝統的技法を再現することにより、後世への技術と精神の継承につながると考えています。



江戸時代から続く手書き友禅染の工程

人のためになるものづくりを

新しいものづくりを始めることは、新しい挑戦を繰り返すことにもなります。事業の大部分を占めるファッ

観光資源の活用



ディスプレイされている「でにぐま」、デニムのポケットに施されているのは京組紐

ション分野だけでなく、ステーションナリーやお土産などを中心とした雑貨の分野に商品展開しようとしたのも挑戦の1つでした。多くの工程を経て作られるジーンズは、約3万円前後の価格帯になることが多く、手に取って頂きにくい方もあるでしょう。そこで、より低価格の小物類を商品化し、お土産などのニーズに対応しようというものです。2008年にオープンした直営店も京都駅にほど近く、観光客がちょっとしたプレゼントとして手に取って下さり、京都デニコの良さをまずは実感して頂きたいと考えていました。現在は、「でにぐま」という同じ形や色のものが1つとないぬいぐるみを中心に、商品を絞り込んで店頭に並べています。「ちゃんとしたものづくりに専念し、それをこつこつと届けて行きたい。」と、桑山さん。行き着いた答えは、商品の幅を広げることより、オリジナルで質の高いものづくりを続けることでした。

商品を買って頂いた瞬間がゴールではなく、そこがその方のお付き合いの始まり。京都デニコは、ずっとはいていけるジーンズを提供するため、染め直しや柄直し、紋入れなど、着物と同じようなアフターケアを承っています。販売も、直営店とWEBのみ。人との繋がりを大切にしたいと、売り方へもこだわりを見せます。桑山さんは、「人のためになることをもっと考えていこうと思いました」と、ものづくりの原点に立ち、デニムを介して、ものづくりの精神そのものを継承しています。

京都デニムを伝統産業に

桑山さんの目標は、京都デニムを伝統産業にすること。もっと沢山の方に京都デニムを手にとって頂き、使っていただき、その良さを知っていただき、さらに自分も作りたいと言う方が現れ、各所で京都デニムが作られ、広まっていくことが嬉しい、と桑山さん。着物文化の生まれ変わりとも言える京都デニコ。伝統工芸の根底にある美しさ、長い歴史が培った本物の和が、後世のライフスタイルに根付いていくことを視野に、決して焦らずご自身の哲学を貫く…そういったものづくりの価値を分かってもらえる方との出会いを楽しんでいるように見えるのでした。



京都駅から徒歩5分の「京都デニコ」直営店（上…外観、下…店舗内の様子）

事業概要

京都デニコ

http://www.homay.jp/

代表：桑山 豊章

業種：呉服製造販売、デザイン業全般、アパレル製造卸、
京都デニコ発信元

設立：平成16（2004）年

住所：〒600-8208 京都市下京区小稲荷町79-3-104

TEL：075-352-1053 FAX：075-352-1053